巻頭特集 | 新作ご当地グルメ、始動。

池田まんぷくグルメ

子どもたちの創作料理が、池田市発祥の「チキンラーメン」を使った〝まんぷく〟になれるご当地グルメとして仲間入り。その舞台裏を聞いた。

自由な発想をまちの新名物に

子どもたちの考案した「チキンラーメン」の創作料理が商品化され、市内で食べられるようになった。元は8月25日に開催された「こども池ー1グランプリ」（以下、同GP）で、人気投票対決をした10種類のメニューのうちの2つだ。同GPの主催者は『一般社団法人 池田青年会議所』（通称『池田JC』）。地域を盛り上げ、子どもたちの成長につながる活動を行っている。今回は『池田JC』創立55周年と、池田市で生まれた「チキンラーメン」の発売60周年を記念して企画された。

同GPの運営を担当した『池田JC 魅力溢れる地域創造委員会』委員長の阿部 碧さんは、「企画のベースは過去の『池ー1グランプリ』で行った『チキンラーメン』の創作料理対決。今度は子どもたちが主役です」と話す。当時の開発メニューの一部は「大阪池田チキチキ探検隊」として、今も市内の飲食店や『池田市観光案内所』で食べられる。子どもたちの手で新たな名物、〝池田まんぷくグルメ〟を生み出す挑戦だ。

参加者を募集したところ、池田市の子どもたち約100人が集結。7月に「チキチキ隊」として色別の10チームを結成した。またプロの目も必要と考え、実行委員会が市内に呼びかけると、11の飲食店や団体が監修に名乗りを上げた。ただ、大人はあくまで見守り役。子どもたち自身でアイデアを出し合い、メニューを作り上げるのだ。

本番をやりとげた子どもたち

結成会や調理実習を経て、人気投票で見事優勝を掴んだのは『おれんじチーム』の「池チキコロコロ」だ。メンバーの好きな食べ物から思いついた料理だそう。本番当日は大勢のお客さんで賑わい、子どもたちの発想に驚きつつ食べ比べを楽しんだ。

「コロッケを同じグラム数に合わせるのが難しかった」、「暑かったから、差し入れのアイスが嬉しかった」とメンバーのみなさん。調理や呼び込みに奮闘し、ついに上位3チームを発表する時間がやってきた。「おいしくできた！」という自信はあったものの、他にも人気のチームがあり優勝は予想しなかったそう。3位にも2位にも呼ばれず、一旦は「もう無理かな…」とあきらめムードに。しかし「1位は、『おれんじチーム』の『池チキコロコロ』です！」と発表されると一転、大はしゃぎで喜びあった。

監修した『不死王閣』常務取締役の岡本文介さんは「子どもたちの自由な発想を引き出すために、ひとりずつにアイデアを書き出してもらい、それらをグループ分けしてまとめました」と話す。現在はレシピを調整し、『池田市観光案内所』で食べられるほか『不死王閣』の朝食バイキングにも登場している。

「チキ玉パン」は『うすむらさきチーム』の出店メニュー。『石橋商店街』の老舗パン店『タローパン』が監修した。「具の味つけは『チキンラーメン』のみ。スープの旨味を活かしてシンプルに仕上げました」と店主の堤 洋一さん。当日は予想以上にたくさんのお客さんが訪れ、『うすむらさきチーム』は具を効率よく作る方法を子どもたちで編み出したそう。「このままお店で出せるくらいおいしい」という声を受け、『タローパン』で毎日販売中だ。

9月29日（土）、『池田市観光案内所』で「池チキコロコロ」のお披露目販売があり、『おれんじチーム』の子どもたちが集合。「お客さん何万人来るやろ？」、「早く食べたい！」と盛り上がった。

まだまだ生まれる池田の魅力

『池田JC』今年度理事長の明石隆平さんは「地域への誇りは池田市の強みにつながります。市民が参加できる地域イベントには意義がある」と述べた。「チキンラーメン」発祥の地であることは他にない池田の特色。今回の〝池田まんぷくグルメ〟登場で池田のご当地グルメはさらに賑やかになりそうだ。池田市ではこの度地域の魅力を発信する『うまい池田PR実行委員会』を立ち上げた。様々なイベントの開催や市民活動の後押しをする予定で、今回の同GPにも後援で参加。市の市民生活部 にぎわい戦略室 地域活性課の楠田慎太郎さんは「このまちが元々持つ魅力をさらに観光につなげたい」と話す。

池田市にはたくさんの魅力がある。それどころか、新しい魅力を自分たちの手で作り出すことさえできるのだ。そのことを子どもたちが教えてくれた。

一般社団法人 池田青年会議所のみなさん

左から今年度理事長の明石隆平さん、同GP企画の委員長を務めた阿部 碧さん、創立55周年実行委員長の岸上秀生さん。「ボランティアや学生の方々、当団体OBなど、多くの人の力でイベントが実現しました」（阿部さん）

1 池チキコロコロ 150円

「チキンラーメン」の香ばしい衣とホクホクのじゃがいもは相性ばっちり。「名前も子どもたちのアイデア。とてもかわいらしいネーミングになったと思います」と『不死王閣』岡本さん

池田市観光案内所
住 池田市満寿美町 2-7（阪急「池田駅」徒歩3分）
営 9:30～17:00
休 火 ※祝日の場合は翌日休
☎ 072-737-7290

不死王閣
住 池田市伏尾町 128-1
休 不定休
☎ 072-751-3540
※宿泊時の朝食バイキングでのみ提供

チキ玉パン 216円

特製コッペパンに、ウインナーとしっとり焼き上げた「チキンラーメン」入りスクランブルエッグを挟んだホットドッグ。「チキンラーメン」で定番の食べ方、〝たまごのせ〟から発想した

タローパン
住 池田市石橋 1-12-4（「石橋商店街」内）
営 8:30～19:15
休 日
☎ 072-761-8480

「こども池ー1グランプリ」レポート

監修店舗・団体（五十音順）：『池田こども食堂さくら』、『池田屋』、『音羽館』、『がんこ 池田石橋苑』、『鮨きた岡』、『タローパン』、『とり竹 本店』、『頓珍館』、『野乃鳥』、『ビストロにふぇ』、『不死王閣』

8/25(土)「チキンラーメン」発売記念日
「こども池ー1グランプリ」

メインの「チキチキフェスティバル」会場で全メニューが対決。お好み焼きや春巻き、グラタンなど多彩なライバルが並ぶ中、得票数316票で『おれんじチーム』が優勝を飾った

8/5(日)
「調理実習」

監修を受けてメニューを試作。試食タイムでは「こんな味つけはなんや」、「私はこっちの方が好き！」と大盛り上がり。メニューが確定し、ネーミングや看板作りもすすめて本番に備える

7/16(月・祝)
「勉強会＆結成式」

小学4年生から中学生までの子どもたちが参加。結成式を行い、各チームでお題食材に沿って自由にアイデアを出しあう。3つずつ出したメニュー候補のプレゼンも子どもたちが行った

取材協力

一般社団法人 池田青年会議所
タローパン
不死王閣
『おれんじチーム』のみなさん
池田市 市民生活部
にぎわい戦略室 地域活性課

同GPで3位入賞の「池チキきゅう」も11/3（土・祝）の「うまいde池田 in 大阪国際空港」で販売予定！

◂詳しくは次ページへ

「池チキコロコロ」のおすすめポイントは…
外がパリパリ！スナック菓子みたいに
軽い感じで食べられます

優勝おめでとう！『おれんじチーム』の子どもたち

「みんなで楽しくメニューを作りたい」と参加したみなさん。『池田市立神田小学校』に通う友達同士や姉弟とのことで、チームワークはばっちり！

文／刀祢美沙　デザイン／松浦愛梨　撮影／西谷月彦　写真提供／一般社団法人 池田青年会議所